

ペパーミントに抗男性ホルモン作用を確認 育毛効果に期待！

～2018年3月27日・日本薬学会 第138年会(金沢)にて発表～

2018/3/23

株式会社 毛髪クリニック リーブ 21（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：岡村勝正、以下リーブ 21）は、2018年3月27日（火）に石川県金沢市で開催される「日本薬学会 第138年会」において、「シソ科香草類の抗男性ホルモン作用」を発表いたします。

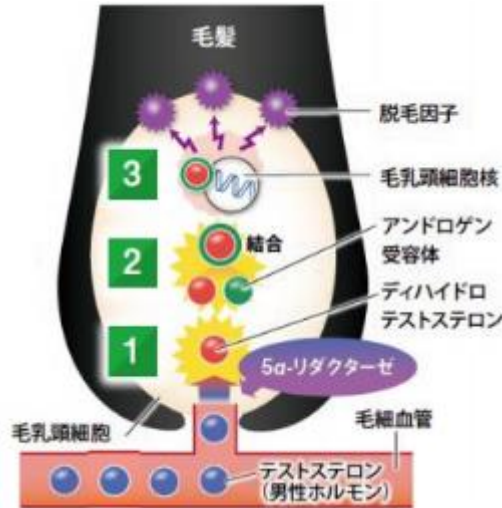
【発表概要】

リーブ 21 は、成人男性によくみられる髪が薄くなる男性型脱毛症（Androgenetic Alopecia, AGA）の発症メカニズムを明らかにし、そのメカニズムに沿って発症を抑制する天然成分を研究しています。その中で、近年、多様な生理・薬理活性が解明されつつあるシソ科香草類の抗男性ホルモン作用を選別検査した結果、シソ科香草類の中でも特にペパーミント（セイヨウハッカ）の抽出物に顕著な抗男性ホルモン作用を確認。



（写真：ペパーミント）

このペパーミントが持つ抗男性ホルモン作用は、男性型脱毛症 発症の抑制に効果が期待できると考えています。



（画像：AGA 発症メカニズム）

和名	学術名
サルビア	<i>Salvia splendens</i>
シソ	<i>Perilla frutescens var. crispata</i>
セージ	<i>Salvia officinalis</i>
タイム	<i>Thymus</i>
ペパーミント	<i>Mentha x piperita L.</i>
マヨラナ	<i>Origanum majorana</i>
ローズマリー	<i>Rosmarinus</i>

（表：試験したシソ科香草類）

シソ科の香草類は古来より人類と馴染み深いもので、食品に香りや味を付与し嗜好性を豊かにする目的で利用され、近年では香草類のもつ機能の解析が進み、多様な生理・薬理活性が解明されつつあります。

【本リリースに関する取材のお問い合わせ】

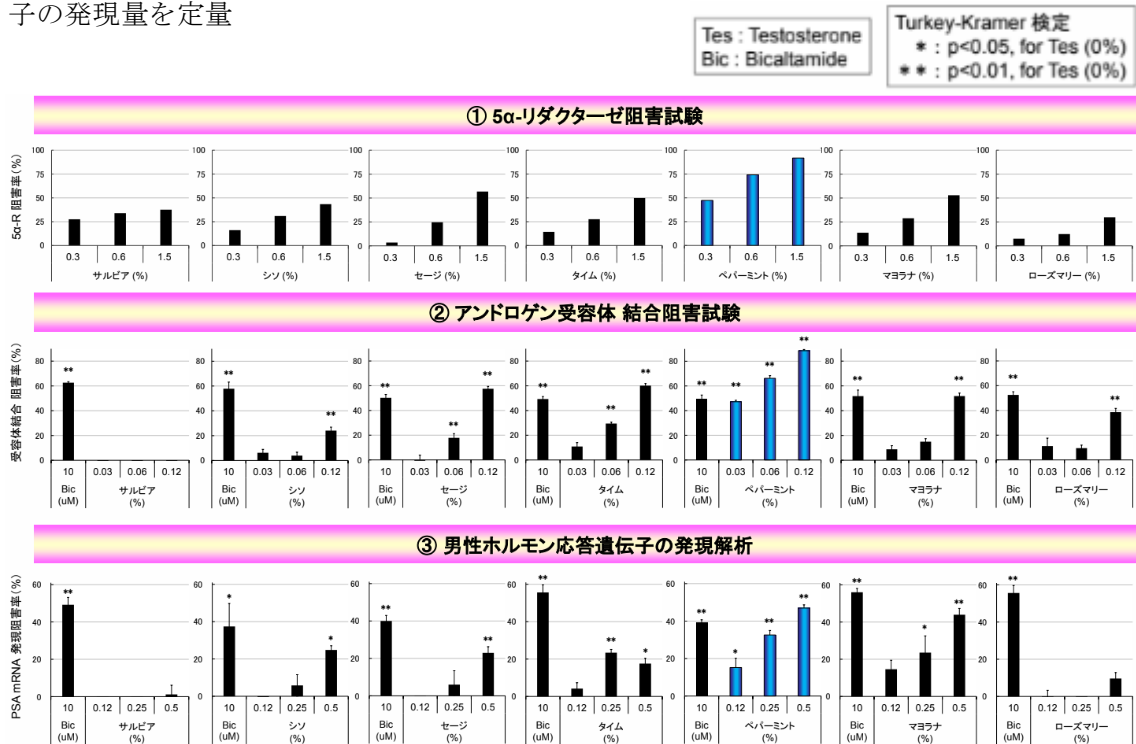
株式会社 毛髪クリニックリーブ21 広報部

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-12-2 朝日ビルディング3階

TEL : 03-3510-1321 FAX : 03-3510-1311 Email : kouhou@reve21.co.jp

■方法・結果

- ①5 α -リダクターゼ阻害試験：ラット肝臓由来 5 α -リダクターゼ粗酵素とテストステロンの反応阻害率を測定
- ②受容体結合阻害試験：3日間のテストステロン処理を施した LNCaP の細胞生存率に対する阻害率は WST-8 試薬を用いて測定
- ③男性ホルモン応答遺伝子の発現解析：上記同処理の 24 時間後に回収した細胞の PSA 遺伝子の発現量を定量



男性ホルモン活性の阻害を目的とし、AGA の作用機序にそった 3 つの観点からスクリーニングを実施。
ペパーミント抽出物はいずれの試験においても顕著な抗男性ホルモン作用を示した。

【会社概要】

会社名：株式会社 毛髪クリニック リーブ 21

代表取締役社長：岡村勝正

ホームページ <https://www.reve21.co.jp/>

本社所在地：大阪府大阪市中央区城見 2-1-61 ツイン 21MID タワー22F

設立：1993 年 11 月

資本金：40,000,000 円、主要サービス：頭髪の発毛施術サービス

【本リリースに関する取材のお問い合わせ】
株式会社 毛髪クリニックリーブ 21 広報部
〒103-0027 東京都中央区日本橋 3-12-2 朝日ビルディング 3 階
TEL : 03-3510-1321 FAX : 03-3510-1311 Email : kouhou@reve21.co.jp